取扱説明書

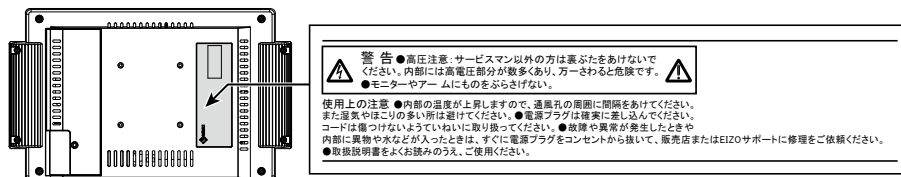
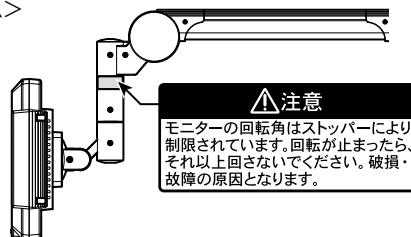
FlexView® 117

アーム式液晶TV

重要

ご使用前には必ず使用上の注意およびこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。この取扱説明書は大切に保管してください。

【警告表示位置】

<テレビ本体背面>

<アーム>

営利目的、または公衆に視聴されることを目的として、画面の大きさを変える（例えば、送信されてくる映像の縦横比を変える）などの特殊機能を使用すると、著作権法で保護される著作権を侵害する恐れがあります。

この製品について

この製品は、ベッドサイドでのTV視聴や情報表示用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源アダプタおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかりますので、テレビの調整は電源を入れて30分以上経過してから行ってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、明るさを下げて使用されることをお勧めします。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングを行うことをお勧めします（「クリーニングの仕方」参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.99%以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、EIZOコンタクトセンターまたはEIZOサポートにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- キャビネットやパネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

キャビネットやパネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせてやさしくふき取ってください。

快適にご使用いただくために

- 部屋が暗すぎたり、明るすぎたりすると目が疲れます。新聞が読める程度の明るさでご覧ください。
- 長時間画面を見続けると目が疲れますので、時々、目を休めてください。

目次

第 1 章　特長と概要

このたびは当社アーム式液晶 TV をお買い求めいただき､誠にありがとうございます。

1‐1. 特長

- 11.0 型ワイド画面
- 解像度 800 × 480 対応
- デジタルチューナー内蔵により、地上デジタル、BS デジタル放送に対応
  チューナーをテレビ本体に内蔵して一体型とし、すっきりとした設置を可能にしました。
- コンポジット（RCA）端子搭載により、ビデオ入力に対応
  DVD プレーヤーなどの映像機器を接続することができます。
- LED バックライト液晶パネル搭載
  従来の蛍光管バックライト液晶パネルと比較して電力効率が高く、消費電力が抑えられます。また、有害物質である水銀を含有していません。
- ロングアーム標準装備
  可動範囲が広く、最適な視聴距離で楽しめます。
- 多彩な取付け用器具（オプション）に対応
  様々な環境に設置できます。
- ステレオスピーカー、イヤホン端子搭載

1 - 2. 梱包品の確認

次のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、EIZO コンタクトセンターまたは EIZO サポートにご連絡ください。

参考

- 梱包箱や梱包材は、この製品の移動や輸送用に保管していただくことをお勧めします。

□ テレビ本体

□ アーム（アンテナケーブル※1、ビデオケーブル、DC コードが内蔵されています。）

□ アーム取付用ねじ M4 × 10mm 4 本

□ ケーブルカバー取付用ねじ M3 × 8mm 1 本

□ 電源アダプタ（DXY1225C-S0171Z）

□ DC コード着脱防止カバー

□ DC コード着脱防止カバー固定ねじ 3 × 10mm 1 本

□ miniB-CAS カード

□ miniB-CAS カード抜け防止器具

□ miniB-CAS カード抜け防止器具固定ねじ M3×10mm 1 本

□ B-CAS「ファーストステップガイド」

□ 取扱説明書（本書）

□ 使用上の注意

□ お客様ご相談窓口のご案内

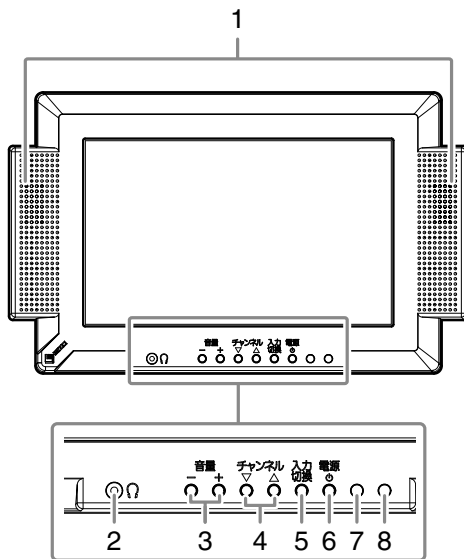
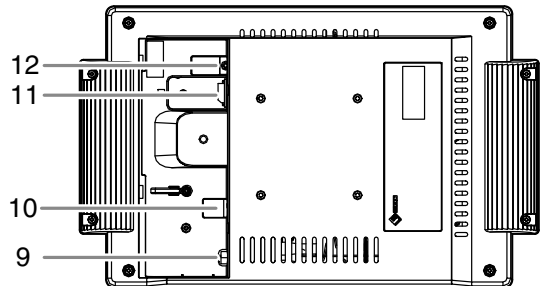
□ 赤外線リモコン※2

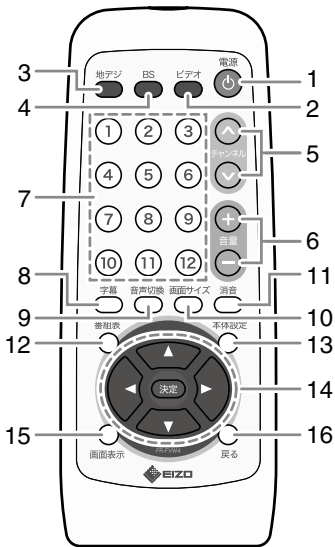
□ リモコン用単 3 形乾電池 2 本

※1　アンテナケーブルは、アーム内蔵部（2.2m）とそれ以外の部分（3m）で 2 本に分かれています。

※2　リモコンは必ず付属品を使用してください。

1 - 3. 各部の名称と機能

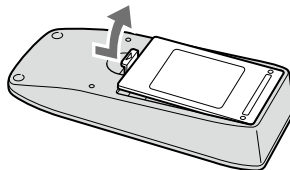
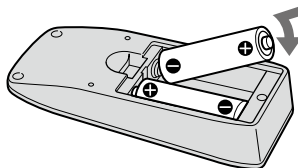
テレビ本体

1	スピーカー	音声を再生します。
2	イヤホン端子	「ステレオミニジャック」イヤホンを接続します。
3	音量（− +）	音量を調節します。
4	チャンネル（▼ ▲）	テレビ視聴中 ： チャンネルを順送りで切り換えます。 ビデオ視聴中 ： テレビ放送に切り換えます。
5	入力切換（入力切換）	入力を切り換えます。 →地上デジタル放送→BSデジタル放送→ビデオ入力
6	電源ボタン（⏻）	電源を入 / 切します。
7	電源ランプ	テレビの動作状態を表します。 消灯 ：画面表示 赤 ：スタンバイ
8	リモコン受光部	リモコンからの信号を受信します。
9	アンテナ入力端子	アンテナケーブルを接続します。
10	映像 / 音声入力端子	ビデオケーブルを接続します。
11	miniB-CAS カード挿入口	miniB-CAS カードを挿入します。
12	電源ジャック	DC コードを接続します。

赤外線リモコン

1	電源	電源を入 / 切します。
2	ビデオ	ビデオ入力に切り換えます。
3	地デジ	地上デジタル放送に切り換えます。
4	BS	BS デジタル放送に切り換えます。
5	チャンネル	チャンネルを順送りで切り換えます。
6	音量	音量を調節します。
7	数字ボタン	チャンネルを選ぶときや数字入力に使います。
8	字幕	字幕の表示（オン / オフ）や字幕言語を切り換えます。
9	音声切換	音声を切り換えます。
10	画面サイズ	画面サイズを切り換えます。
11	消音	音声を一時的に消します。
12	番組表	番組表を表示します。
13	本体設定	本体設定メニューを表示 / 終了します。
14	▲/▼/◀ / ▶/ 決定	画面に表示される各種メニューの項目選択や、設定、調整を決定するときに使用します。
15	画面表示	テレビ視聴中にはデジタル放送の情報、ビデオ視聴中には入力名（「ビデオ」）を表示します。
16	戻る	メニュー操作などで、メニューを一つ前の画面に戻します。

注意点

- リモコンの操作範囲について
  リモコンは、リモコン受光部の正面で操作してください。
  操作対象以外のテレビが誤作動しないようリモコン信号の出力が制限されています。

● 乾電池の入れ方

1. リモコンの底面を上にし、ツマミを矢印の方向に押してロックを外し、カバーを取り外します。

2. 単 3 形乾電池を入れ、カバーを元に戻します。
   乾電池の入れる向きに注意してください。

第 2 章　準備する

2‐1. 準備の流れ

次の流れで必要な準備（設置・接続・設定）を行います。

2-2 接続する

P.11

手順*1*　テレビ本体にアームを取り付ける

手順*2*　テレビ本体にminiB-CASカード、ケーブル類を接続する

手順*3*　アームを設置場所に取り付ける

手順*4*　アンテナ、映像機器を接続する

手順*5*　電源コードを電源コンセントに接続する

2-3 デジタル放送の受信設定を行う

P.16

デジタル放送を見るための設定を行います。

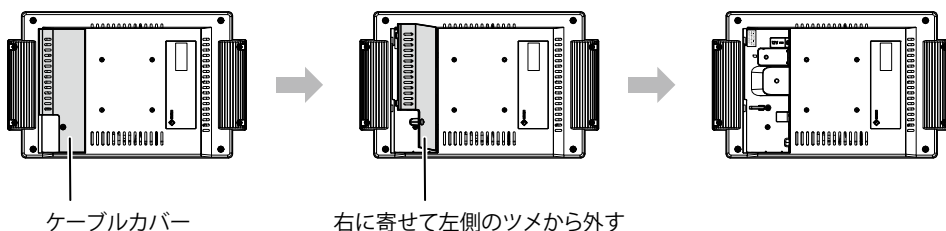
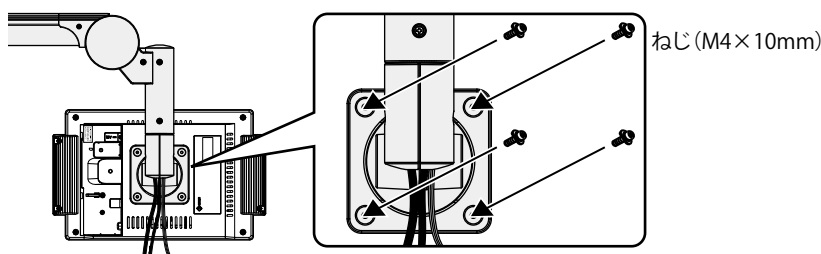
以上で準備完了です。

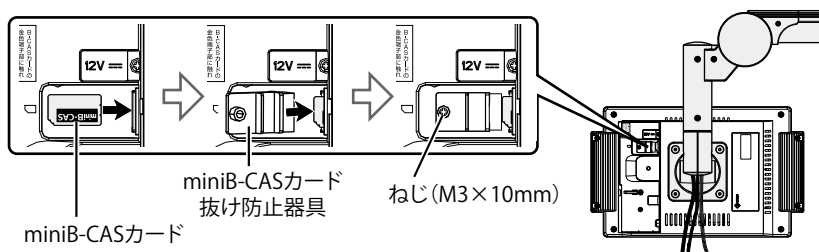
必要に応じて・・・
画面や音声の調整、本体の設定などを行ってください。

2 - 2. 接続する

接続手順

1 テレビ本体にアームを取り付けます。（別途ドライバ（＋）を準備ください。）

1. テレビ本体のパネル面が傷つかないように、安定した場所にやわらかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
2. テレビ本体背面のケーブルカバーを外します。

3. テレビ本体の取り付け穴（4 箇所）にアームの取り付け穴（4 箇所）を合わせて、アームを置きます。
4. 付属のねじ（M4 × 10mm）を使って、アームを固定します。

2 テレビ本体に miniB-CAS カード、アームに配線されているケーブル類を接続します。

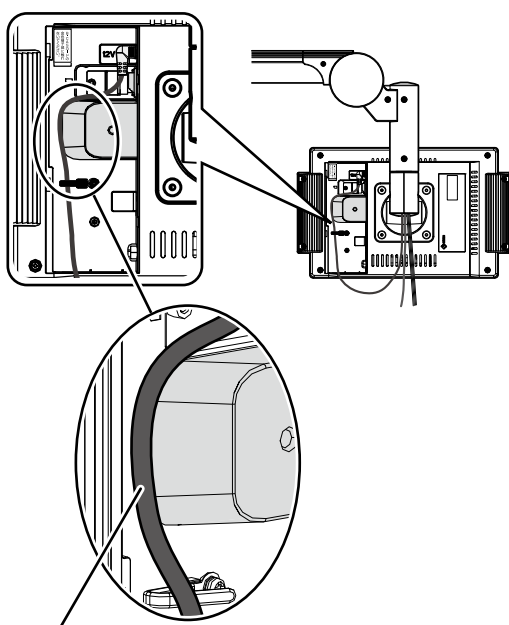
1. テレビ本体背面の miniB-CAS カード挿入口に、miniB-CAS カードを奥までしっかりと差し込みます。
2. miniB-CAS カード抜け防止器具を、付属のねじ（M3×10mm）で固定します。

【取扱注意】
裏面の金色端子面に触れないように差し込んでください。

注意点

- カードは正しく差し込んでください。挿入方向やカードの向きを間違うとカードが機能しません。
- 抜き差しする際に、カードを紛失しないようご注意ください。

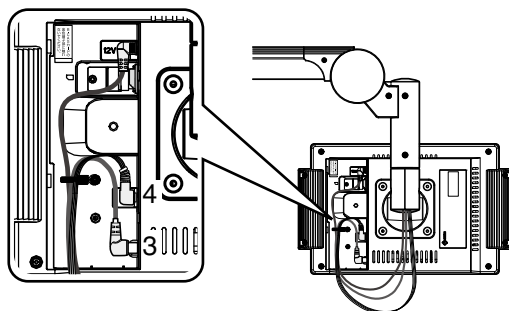
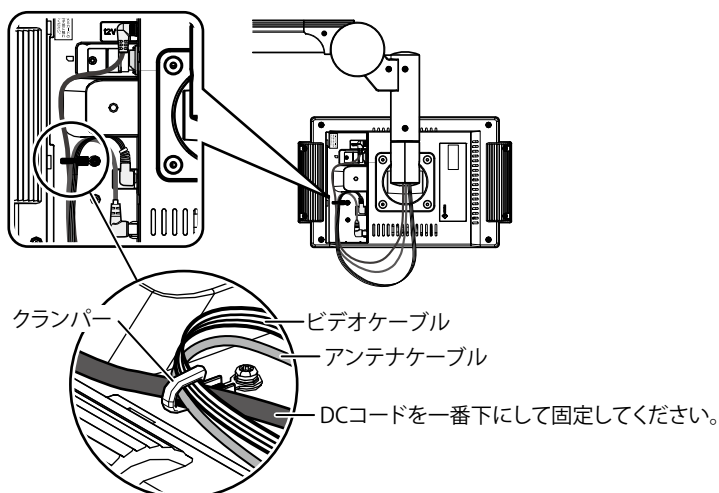
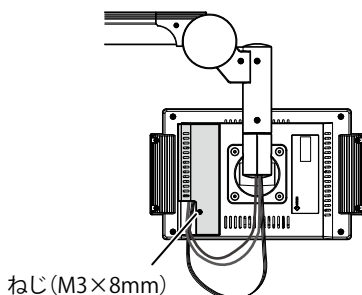
参考

- miniB-CAS カードに関するお問い合わせは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。連絡先は、miniB-CAS カードが貼ってある台紙および miniB-CAS カード本体に記載されています。

2. アームに配線されている DC コードをテレビ本体背面の電源ジャックに接続します。

DCコードは突起部の根元に配線してください。

3. アームに配線されているアンテナケーブルをテレビ本体背面のアンテナ入力端子に接続します。
4. アームに配線されているビデオケーブルをテレビ本体背面の映像 / 音声入力端子に接続します。

注意点

- ケーブル類は、使用しない場合でもすべてテレビ本体に接続してください。
- 各コネクタは奥までしっかりと差し込んでください。

5. ケーブル類をクランパーで固定します。

6. ケーブルカバーをかぶせて、付属のねじ（M3×8mm）でしっかり締めます。

注意点

- ケーブル類を挟み込んでいないことを確認して、カバーをかぶせてください。

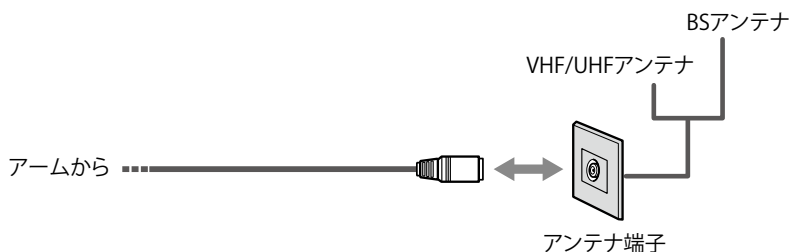
3 アームを設置場所に取り付けます。

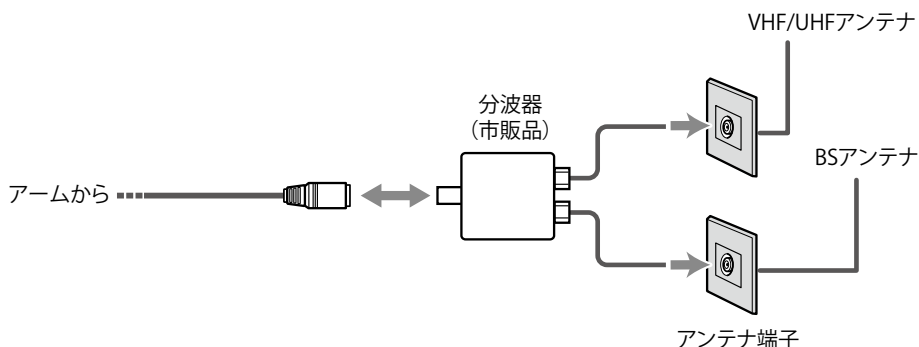
オプションアーム取付用器具を使用して取り付けます。
取付方法はオプションアーム取付用器具に付属の説明書を参照してください。

4 アンテナ、映像機器を接続します。

● テレビを視聴する場合

壁のアンテナ端子にアームに配線されているアンテナケーブルを接続します。

■地上デジタル放送と BS デジタル放送の信号が混合の場合

■地上デジタル放送と BS デジタル放送の信号が個別の場合

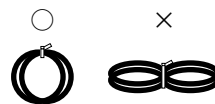
別途、分波器が必要です。

注意点

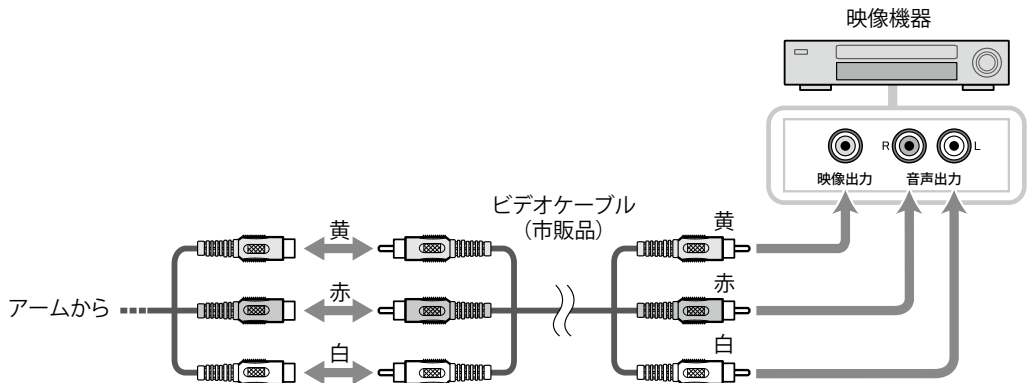
アンテナについて

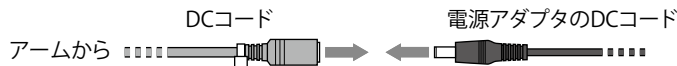
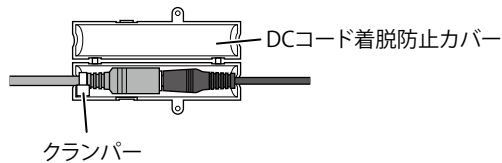
- 地上デジタル放送は、UHF アンテナを使って受信します。現在使用しているアンテナやお住まいの地域に応じて、次のように設置してください。
  - VHF アンテナのみ設置されている場合
    地上デジタル放送に対応した UHF アンテナの設置が必要です。
  - UHF アンテナが設置されている場合
    そのまま地上デジタル放送を受信できる場合がありますが、次のような場合は、アンテナの調整や新たに地上デジタル放送に対応したアンテナの設置が必要です。
    - 地上デジタル放送のチャンネルと合わない場合
    - 地上アナログ放送と地上デジタル放送の電波の来る方向が違う場合
- BS デジタル放送は、BS デジタル用アンテナを使って受信します。従来の BS アンテナで、BS デジタル放送のアンテナ電源デジタル放送が安定して受信できない場合は、BS デジタル用アンテナを使用してください。
  また、BS デジタル用アンテナを使用する場合、アンテナのコンバーターに電源を供給する必要があります。アンテナの設置状況に応じて、アンテナ電源の設定をおこなってください（P.21 参照）。
- デジタル放送の映りが悪い場合は、アンテナの方向調整が必要になることがあります。

アンテナケーブルについて

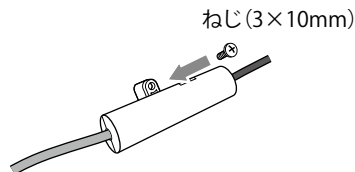
- アンテナケーブルを抜くときは、コネクタ部分を持って行ってください。ケーブル部分を引っ張るとケーブルが傷つき、火災や感電、故障の原因となります。
- アンテナケーブルを束ねる場合は、束ね方に注意してください。その際にケーブルをねじらないよう束ねてください。ケーブルが破損し、画面の映りが悪くなる場合があります。

- アンテナケーブルは 2 本（アーム内蔵部とそれ以外の部分）に分かれています。2 本のケーブルがアームの根元で確実に接続されていることを確認してください。

● ビデオを視聴する場合

映像機器にアームに配線されているビデオケーブルを接続します。

5 電源アダプタの電源コードを電源コンセントに接続します。

1. アームに配線されている DC コードを電源アダプタの DC コードに接続します。

2. 手順 1 の接続部分に DC コード着脱防止カバーを取り付けます。

注意点

- DC コード着脱防止カバーは必ず取り付けてください。
- DC コード側に付いているクランパーは、DC コード着脱防止カバーの中に収めてください。

3. DC コード着脱防止カバーを閉じ、ねじ（3×10mm）で固定します。

4. 電源アダプタの電源コードを電源コンセントに接続します。
電源ランプが点灯（赤色）し、スタンバイ状態となります。

2－3. デジタル放送の受信設定を行う

注意点

- この製品の設定は、赤外線リモコンを使って行います。

参考

- デジタル放送の受信設定は、オプション設定メニュー内の「地デジ設定」で行います。
  オプション設定メニューは、主に設置時に設定する機能を集めたメニューです。通常のテレビ視聴時などに設定が変更されないよう、メニューを表示するときはリモコンの特殊な操作が必要になります。

チャンネル設定をする（地デジ）

次の順序で地上デジタル放送を見るために必要な設定を行い、チャンネル設定をお住まいの地域の放送に合わせます。

1 **（電源）を押して、電源を入れます。**

2 **（本体設定）を押します。**

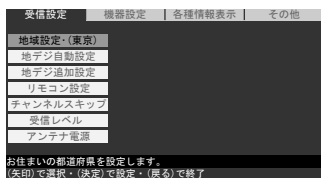
本体設定メニューが表示されます。

3 **▲ または ▼ で「リセット」を選択し、（決定）を押します。**

4 **▲ を 5 秒以上押します。**

オプション設定メニューが表示されます。

5 **「地デジ設定」を選択し、（決定）を押します。**

地デジ設定メニューが表示されます。

6 **「受信設定」の「地域設定」を選択し、（決定）を押します。**

7 **▲ または ▼ でお住まいの地域を選択し、（決定）を押します。**

選択した地域の都府県または支庁の一覧が表示されます。

注意点

- 実際と異なる地域を設定した場合、チャンネルが正しく設定されない場合があります。

8 ▲または▼で都府県（または支庁）を選択し、(決定)を押します。

9 ▲または▼で「地デジ自動設定」を選択し、(決定)を押します。

チャンネル検索方法選択画面が表示されます。

10 ▲または▼でチャンネル検索方法を選択し、(決定)を押します。

探す（全チャンネル）	受信できるすべての放送局を自動的に検索し、画面に表示します。 通常は、「探す（全チャンネル）」を選択します。
探す（UHF13 ～ 62CH）	受信できる放送局のうち UHF13 ～ 62CH のみを検索します。

受信できる放送局が自動的に検索されます。

注意点

- 受信できる放送局が検索されなかった場合、「受信できる放送局が見つかりませんでした。」と表示されます。アンテナの接続を確認してください。
- ご使用の地域で新しく放送が開始された場合、再度同様の操作を行って、受信放送局を追加する必要があります。

参考

- 設定されるチャンネルの目安については「6-2. 地上デジタル放送の放送一覧」（P.43）を参照してください。
- チャンネルを修正したい場合は、「チャンネルボタンの登録を手動で変更する（地デジ、BS）」（P.18）を参照してください。

11 「更新する」を選択し、(決定)を押します。

▲または▼で設定された放送局を確認できます。

設定された放送局はリモコンのチャンネル（数字）ボタンに自動的に割り当てられます。

12 ○戻るを押して設定を終了します。

参考

- デジタル放送の映りが悪い場合は、アンテナの方向調整が必要になることがあります。

チャンネル設定を修正する（地デジ、BS）

チャンネル設定を修正できます。必要に応じて設定してください。

● チャンネルを追加設定する（地デジ）

地上デジタル放送の受信状況が変わったとき（新たに放送局が追加されたときなど）、受信できる局を追加します。

設定方法

1. 本体設定 ◯ を押します。
   本体設定メニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、決定 を押します。
3. ▲ を 5 秒以上押します。
   オプション設定メニューが表示されます。
4. 「地デジ設定」を選択し、決定 を押します。
   地デジ設定メニューが表示されます。
5. ▲/▼/◀/▶ で「受信設定」の「地デジ追加設定」を選択し、決定 を押します。
   チャンネル検索方法選択画面が表示されます。
   検索方法については「チャンネル設定をする」の手順 10 （P.17）以降を参照してください。

● チャンネルボタンの登録を手動で変更する（地デジ、BS）

リモコンの数字ボタン ① ～ ⑫ に設定されているチャンネル（放送局）の登録をお好みの設定に変更することができます。

設定方法

1. 本体設定 ◯ を押します。
   本体設定メニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、決定 を押します。
3. ▲ を 5 秒以上押します。
   オプション設定メニューが表示されます。
4. 「地デジ設定」を選択し、決定 を押します。
   地デジ設定メニューが表示されます。
5. ▲/▼/◀/▶ で「受信設定」の「リモコン設定」を選択し、決定 を押します。
   チャンネル（数字）ボタンと現在割り当てられている放送局の一覧が表示されます。
6. ◀ または ▶ で放送を選択します。
   （CS デジタル放送の設定も可能ですが、この製品は CS デジタル放送を受信できません。）
7. ▲ または ▼ で変更したいチャンネル（数字）ボタンの番号を選択し、決定 を押します。
   放送局の選択画面が表示されます。
8. ▲ または ▼ で登録したい放送局を選択し、決定 を押します。
   選んだ放送局が指定のチャンネル（ボタン）に割り当てられます。

9. 手順 6、7、8 を繰り返し、各放送局をお好みのチャンネル（数字）ボタンに割り当てます。
10. 設定が完了したら、◯（戻る）を 2 回押して設定を終了します。

● チャンネルスキップを登録する（地デジ、BS）

チャンネルスキップを登録して、特定のチャンネル（放送局）が視聴できないようにすることができます。

設定方法

1. ◯（本体設定）を押します。
   本体設定メニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、（決定）を押します。
3. ▲ を 5 秒以上押します。
   オプション設定メニューが表示されます。
4. 「地デジ設定」を選択し、（決定）を押します。
   地デジ設定メニューが表示されます。
5. ▲/▼/◀/▶ で「受信設定」の「チャンネルスキップ」を選択し、（決定）を押します。
   チャンネル（数字）ボタンと現在割り当てられている放送局の一覧が表示されます。
6. ◀ または ▶ で放送を選択します。
   （CS デジタル放送の設定も可能ですが、この製品は CS デジタル放送を受信できません。）
7. ▲ または ▼ でチャンネルスキップを設定したいチャンネル（放送局）を選択し、（決定）を押します。
   チャンネルスキップを設定したチャンネル（放送局）は、□（チェックボックス）が青色で表示されます。
8. 手順 7 を繰り返し、視聴できないようにしたいチャンネル（放送局）すべてにチャンネルスキップを設定します。
9. 設定が完了したら、◯（戻る）を 2 回押して設定を終了します。

参考

- チャンネルスキップを設定したチャンネル（数字）ボタンを操作した場合は、「このボタンはチャンネル登録されていません」と表示されます。
- （チャンネル ∧）または（チャンネル ∨）を操作した場合も、チャンネルスキップを設定したチャンネル（放送局）は選局できません。
- チャンネルスキップを設定したチャンネル（放送局）は、チャンネルボタンの登録を手動で変更することはできません。
- チャンネルスキップを解除するときは、手順 3 でチャンネルスキップを設定したチャンネル（放送局）を選択し、もう一度（決定）を押してください。

受信レベルを確認する（地デジ、BS）

各放送局の受信状態の目安（受信の品質）を確認します。

注意点

- 表示される「受信レベル」は、アンテナの方向調整などに使うためのもので、絶対的な電波の強さを示すものではありません。
- 受信レベルを確認する場合は、事前に地域の設定 （P.16）、受信チャンネルの設定 （P.16） をする必要があります。

確認方法

1. 本体設定 ◯ を押します。
   本体設定メニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、決定 を押します。
3. ▲ を 5 秒以上押します。
   オプション設定メニューが表示されます。
4. 「地デジ設定」を選択し、決定 を押します。
   地デジ設定メニューが表示されます。
5. ▲/▼/◀/▶ で「受信設定」の「受信レベル」を選択し、決定 を押します。
   現在受信可能なチャンネル一覧が表示されます。
6. ◀ または ▶ で放送を選びます。
   （CS デジタル放送の選択も可能ですが、この製品は CS デジタル放送を受信できません。）
7. ▲ または ▼ で確認したい放送局を選択し、決定 を押します。
8. 画面に表示される受信レベルを確認します。

表示	受信レベル
赤色	0 ～ 39%
黄色	40 ～ 59%
緑色	60 ～ 100%

アンテナの方向調整時には、表示が緑色になるようにしてください。

注意点

- 受信レベルが赤色で表示され、画面にモザイク（四角いノイズ）が出る場合や、「受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください」と表示される場合は、アンテナの方向やアンテナケーブルの状態を確認してください。
- 画面にモザイク（四角いノイズ）が出る場合や、「受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください」と表示される場合は、アンテナの方向やアンテナケーブル、ブースターの状態を確認してください。

9. 受信レベルの確認が完了したら、◯ 戻る を 3 回押して確認を終了します。

アンテナの電源供給を設定する（BS）

BS デジタル用アンテナのコンバーターに電源を供給するかしないかを設定します。

設定方法

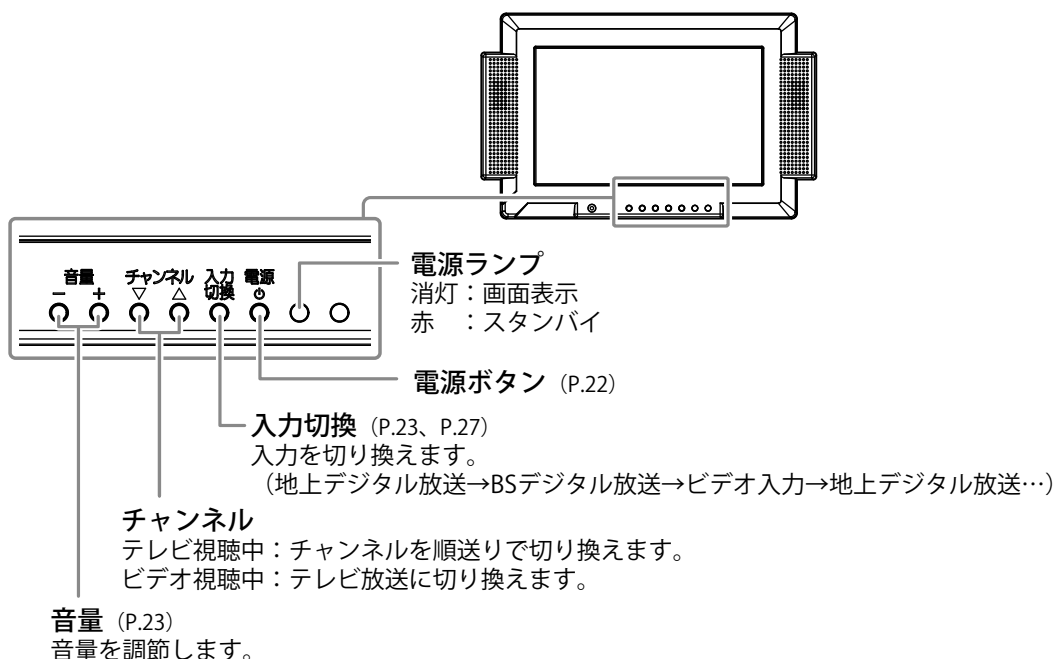
1. 本体設定 ◯ を押します。
   本体設定メニューが表示されます。
2. ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、決定 を押します。
3. ▲ を 5 秒以上押します。
   オプション設定メニューが表示されます。
4. 「地デジ設定」を選択し、決定 を押します。
   地デジ設定メニューが表示されます。
5. ▲/▼/◀/▶ で「受信設定」の「アンテナ電源」を選択し、決定 を押します。
6. ▲ または ▼ で供給するかしないかを選択し、決定 を押します。

供給する	戸建住宅で、個別にアンテナを設置している場合
供給しない	集合住宅などで共同アンテナを利用している場合や、戸建住宅で共聴になっていて、他の機器からアンテナ電源を供給している場合

注意点

- この製品の電源コードを抜いた状態では、アンテナ電源は供給されません。

第 3 章　操作する

3 - 1. テレビ本体のボタンでの操作

3 - 2. リモコンでの操作

電源を入れる / 切る

● 電源を入れる

1. （電源）を押します。

   電源ランプが消灯して、画面が表示されます。

参考

- 画面が表示されるまでにしばらく時間がかかることがあります。

● 電源を切る

1. （電源）を押します。

   電源ランプが赤く点灯し、スタンバイ状態になります。

注意点

- 使用後は電源を切ってください 。また 、電源プラグを抜くことで確実にテレビ本体への電源供給は停止します 。

音量を調節する

調節範囲：0 ～ 50

1. ⊕（音量）または ⊖（音量）を押します。

音声を消す

1. （消音）を押します。

音声が一時的に消えます。

再度（消音）を押すか ⊕（音量）を押して音量を上げると、音声が出ます。

参考

- テレビ本体の ＋ を押しても、消音を解除することができます。

テレビを見る

注意点

- 地上デジタル放送は、受信設定（P.16 参照）を行わないと選局できません。

放送を切り換える

この製品では、地上デジタル放送、BS デジタル放送を視聴できます。

1. （地デジ）または（BS）を押します。

チャンネルを選ぶ

■ リモコンの数字ボタンで選ぶ

1. ① ～ ⑫ のいずれかを押します。
   ボタンに割り当てられているチャンネルに変わります。

参考

- 地上デジタル放送は、受信設定（P.16）で設定したチャンネルが割り当てられています。
- BS デジタル放送は購入時、次のチャンネルが割り当てられています。

ボタン	チャンネル	放送	ボタン	チャンネル	放送
1	101	NHK BS1	2	-	-
3	103	NHK BS プレミアム	4	141	BS 日テレ
5	151	BS 朝日 1	6	161	BS-TBS
7	171	BS ジャパン	8	181	BS フジ
9	191	WOWOW プライム	10	200	スター・チャンネル
11	211	BS11	12	222	TwellV

■順送りで選ぶ

1. チャンネル ∧ または チャンネル ∨ を押します。
   チャンネルが、順に表示されます。

参考

- 地上デジタル放送では、一つの放送局が複数の番組を同時に放送することがあります。このような場合は、同時に放送されるそれぞれの番組に、「021」「022」のような、1 の位の数字だけが異なる 3 桁チャンネル番号が割り当てられます。
  このような場合は、∧ または ∨ で番組を選ぶことができます。
- この製品では、受信チャンネルの設定（P.16）において、16 局までの放送局が登録できます。放送局が 12 以上見つかった場合は、数字ボタン ① ～ ⑫ に割り当てられない放送局がありますので、このような場合は、∧ または ∨ でチャンネルを選択してください。
  チャンネルスキップ（P.19）を登録することで、特定のチャンネル（放送局）が視聴できないようにすることができます。

● 番組表を見る「番組表」

1. 地デジ または BS を押して、放送を切り換えます。
2. 番組表 を押します。
   選択した放送の番組表が表示されます。

番　組　一　覧

○○○○ニュース　　10/1(月)　20:00-20:55

	ＮＨＫ総合・東京 011 012	ＮＨＫ教育・東京 021 022 023	日本テレビ 041 042 043
20時	00 ゴルフ入門	00 ○○○○ニュース	日本国内旅番組
21時	00 趣味の時間	00 サスペンスドラマ	00 洋画劇場
22時	00 スポーツニュース		
23時 ▼	00 今日のニュース	00 海外ドラマ	20 ドキュメンタリー

(矢印)選択, (決定)選局, (戻る)/(番組表)終了

3. ◀ または ▶ でチャンネルを、▲ または ▼ で放送日時をスクロールします。

参考

- 番組を選択して 決定 を押すと、選択しているチャンネルに切り換わります。
- 電源を入れた直後や、デジタル放送のチャンネルを切り換えた直後は、番組表の表示に時間がかかる場合があります。
- 番組表データのないチャンネルは、表示されません。
- 地デジ設定メニューの「機器設定」-「番組表取得設定」において、「取得する」を設定すれば、スタンバイ状態（電源オフ、電源ランプ赤点灯）のときに、番組表データが更新されます。
- 電源プラグをコンセントから抜くと、取得した番組表データが消去される場合があります。

● 番組の内容を見る「画面表示」

番組を見ているときに、その番組の番組名、放送局名、チャンネル番号などを画面に表示することができます。

1. ○(画面表示) を押します。
   番組名、放送局名、チャンネル番号などが表示されます。
   表示は約 5 秒後に自動的に消えます。

2. ○(画面表示) を押して、操作を終了します。

注意点
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と表示される内容が一致しないことがあります。

● 音声を切り換える「音声切換」

2 か国語放送や多重音声放送を受信しているときは、音声を切り換えることができます。

注意点
- 切り換えられる音声の種類と数は番組により異なります。

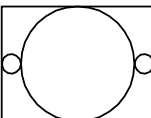
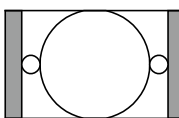
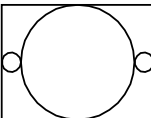
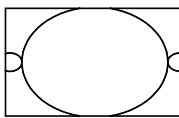
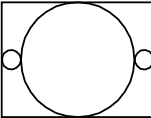
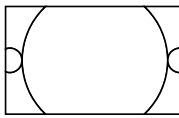
1. (音声切換) を押します。
   ボタンを押すたびに音声が切り換わります。
   (例:「主音声」→「副音声」→「主音声+副音声」)

   参考
   - 番組によっては「主音声」と「副音声」が同じ音声の場合があります。
   - 「主音声」、「副音声」、「主音声+副音声」の切り換えは、地デジ設定メニューの「機器設定」-「音声切換」でもできます。

字幕の表示を設定する「字幕」

デジタル放送で字幕放送サービスが行われている場合は、画面に字幕を表示させることができます。また、複数の言語の字幕がある場合は表示される字幕の言語を選択することができます。

1. 字幕 ◯ を押します。
   ボタンを押すたびに字幕の設定が切り換わります。
   （例：「字幕なし」→「第１言語（日本語）」→「第２言語（英語など）」）

参考

- 字幕放送に対応していない番組を視聴中に 字幕 ◯ を押した場合は「字幕なし」と表示されます。
- 番組によっては、第２言語の字幕がない場合もあります。
- 字幕の表示は地デジ設定メニューの「機器設定」-「字幕・文字スーパー」-「字幕」でも設定することができます。

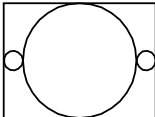
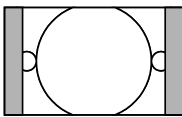
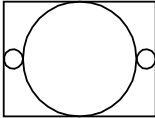
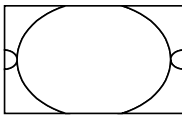
画面サイズを切り換える「画面サイズ」

テレビ放送の放送フォーマットが 480i（4：3 サイズの映像）の場合に、画面サイズを切り換えることができます。

注意点

- 480i 以外の場合は、16：9 の画面サイズに固定されます。

設定	状態	放送フォーマット（480i） → 画面の見え方
ノーマル	4：3 サイズの画面でそのまま表示します。画面の左右に黒帯が表示されます。	→
フル	4：3 サイズに圧縮された 16：9 サイズの映像を、16：9 サイズに戻して画面全体に表示します。	→
ズーム	16：9 のレターボックスサイズの映像を、画面全体に表示します。	→

1. 画面サイズ ◯ を押します。
   ボタンを押すたびにサイズが切り換わります。

ビデオを見る

● 入力を切り換える

テレビ視聴時は、入力を切り換えてください。

1. ビデオ ⬭ を押します。

● 画面サイズを切り換える「画面サイズ」

設定	状態	入力信号（NTSC） → 画面の見え方
ノーマル	4：3 サイズの画面でそのまま表示します。画面の左右に黒帯が表示されます。	→
フル	4：3 サイズに圧縮された 16：9 サイズの映像を、16：9 サイズに戻して画面全体に表示します。	→

1. 画面サイズ ⬭ を押します。
   ボタンを押すたびにサイズが切り換わります。

注意点

•「画面サイズ」の設定は、電源を切 / 入すると初期設定（「フル」）に戻ります。

第 4 章　調整と設定をする

4 - 1. 基本編

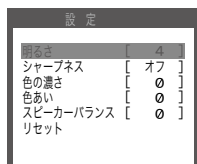
本体設定メニューで、テレビ視聴時の映像や音声などの調整を行います。

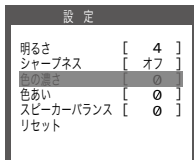
注意点

- この製品の設定は、赤外線リモコンを使って行います。

メニューの基本操作方法

1 本体設定メニューの表示

本体設定 ○ を押します。

2 調整 / 設定

1. ▲ または ▼ で、調整 / 設定したい項目を選択し、(決定) を押します。

2. ◀ または ▶ で、調整 / 設定し、(決定)を押して確定します。

3 終了

本体設定 ○ を押します。

機能一覧

本体設定メニューで調整および設定できる機能は次のとおりです。

項目	設定項目 / 設定値	設定内容
明るさ	0 ～ 10	画面の明るさを調整します。
シャープネス	オフ +1 +2	画像の輪郭を調整します。
色の濃さ	-30 ～ 30	色の濃さを調整します。
色あい	-30 ～ 30	色あいを調整します。
スピーカーバランス	-5 ～ 5	スピーカーの左右の出力バランスを調整します。
リセット		「初期設定に戻す」（P.29）参照

初期設定に戻す

本体設定を初期設定（工場出荷状態）に戻すことができます。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

1. 本体設定 ○ を押し、本体設定メニューを表示します。
2. ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、決定 を押します。
3. ◀ または ▶ で「リセットする」を選択し、決定 を押します。
   本体設定が初期設定に戻ります。
4. 本体設定 ○ を押し、本体設定メニューを終了します。

4 - 2. 応用編

オプション設定メニューで、デジタル放送や本体の特殊な設定を行います。

参考
- オプション設定メニューは、主に設置時に設定する機能を集めたメニューです。通常のテレビ視聴時などに設定が変更されないよう、メニューを表示するときはリモコンの特殊な操作が必要になります。

メニューの基本操作方法

● オプション設定メニュー

1 オプション設定メニューの表示

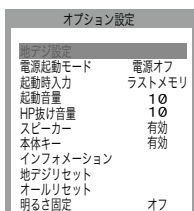
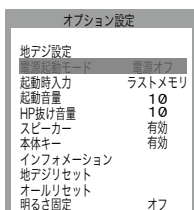
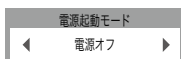
1. 本体設定 ○ を押します。
2. ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、(決定) を押します。
3. ▲ を 5 秒以上押します。

2 調整 / 設定

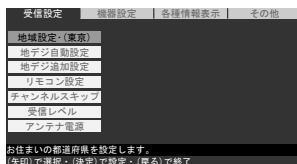
1. ▲ または ▼ で、調整 / 設定したい項目を選択し、(決定) を押します。

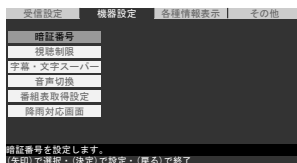
2. ◀ または ▶ で、調整 / 設定し、(決定)を押して確定します。

3 終了

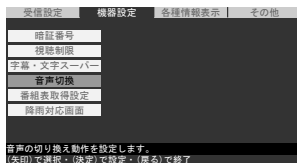
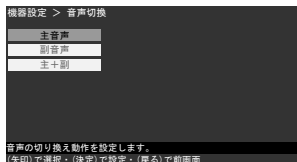
○ 戻る を押します。

● 地デジ設定メニュー

1 地デジ設定メニューの表示

オプション設定メニューで「地デジ設定」を選択し、(決定) を押します。

2 調整 / 設定

1. ◀ または ▶ で、調整 / 設定したいタブを選択します。

2. ▲ または ▼ で、調整 / 設定したい項目を選択し、(決定) を押します。

3. ▲ または ▼ で、調整 / 設定し、(決定) を押して確定します。

3 終了

○ 戻る を数回押します。

機能一覧

オプション設定メニュー、地デジ設定メニューで調整および設定できる機能は次のとおりです。

● オプション設定メニュー

項目	設定項目 / 設定値	設定内容
地デジ設定		「地デジ設定メニュー」（P.30）参照
電源起動モード	ラストメモリ 電源オフ 電源オン	電源コードを電源コンセントに接続したときのテレビの状態を設定することができます。 （「ラストメモリ」を選択すると、前回電源コードを電源コンセントから取り外したときの状態となります。）
起動時入力	ラストメモリ テレビ ビデオ	電源を入れたときの入力を固定することができます。 （「ラストメモリ」を選択すると、前回電源を切ったときの入力となります。「テレビ」を選択した場合は、地デジと BS のうち、最後に視聴していた放送となります。）
起動音量	ラストメモリ 固定（0 ～ 50）	電源を入れたときの音量を固定することができます。 （「ラストメモリ」を選択すると、前回電源を切ったときの音量となります。） **［設定手順］** (1) ▲▼ で「起動音量」を選択し、決定を押します。 (2) ▲▼ で「ラストメモリ」または「固定」を選択します。 (3)「固定」を選択した場合は ◀ ▶ で数値を選択し、▲▼ で音量を設定します。
HP 抜け音量	ラストメモリ 固定（0 ～ 50）	接続していたヘッドホン (イヤホン）が抜けたときのスピーカーの音量を固定することができます。 **［設定手順］** (1) ▲▼ で「HP 抜け音量」を選択し、決定を押します。 (2) ▲▼ で「ラストメモリ」または「固定」を選択します。 (3)「固定」を選択した場合は ◀ ▶ で数値を選択し、▲▼ で音量を設定します。
スピーカー	有効 無効	スピーカーから音声を出力する / しないの切り替えができます。 **参 考** • 「無効」に設定すると、本体設定メニューの「スピーカーバランス」は表示されません。
本体キー	電源のみ 有効 無効	テレビ本体のボタン操作を無効にすることができます。 （「無効」を選択するとすべてのボタン、「電源のみ」を選択すると電源ボタンを除くすべてのボタンが操作できなくなります。）
インフォメーション		使用時間、電源オンの回数、ファームウェアのバージョンを表示します。
地デジリセット		「地デジ設定を初期設定に戻す」（P.35）参照 **注意点** • BS デジタル放送の設定も初期設定に戻ります。
オールリセット		「すべての設定を初期設定に戻す」（P.35）参照

項目	設定項目 / 設定値	設定内容
明るさ固定	オフ 0 ～ 10	画面の明るさをお好みの値に固定することができます。 参 考 • 「オフ」に設定すると、明るさは固定されません。本体設定メニューの「明るさ」で調整することができます。 • 明るさを固定すると、本体設定メニューの「明るさ」は表示されません。

● 地デジ設定メニュー

項目		設定項目 / 設定値	設定内容
受信設定	地域設定		
	北海道 東北 関東 信越 / 北陸 中部 / 東海 近畿 中国 / 四国 九州 / 沖縄	都府県または支庁	「2-3. デジタル放送の受信設定を行う」（P.16）参照
	地デジ自動設定		
	地デジ追加設定		「チャンネルを追加設定する（地デジ）」（P.18）参照
	リモコン設定		「チャンネルボタンの登録を手動で変更する（地デジ、BS）」（P.18）参照
	チャンネルスキップ		「チャンネルスキップを登録する（地デジ、BS）」（P.19）参照
	受信レベル		「受信レベルを確認する（地デジ、BS）」（P.20）参照
	アンテナ電源		BS アンテナに電源を供給する / しないを選択します。
機器設定	暗証番号		数字 4 桁を暗証番号として設定します。デジタル放送の設定内容を初期設定に戻すときや視聴制限を解除するときに必要になります。 [**設定手順**] (1) ▲/▼/◀/▶ で「機器設定」の「暗証番号」を選択し、決定 を押します。 (2) ▲ または ▼ で「更新する」を選択し、決定 を押します。 (3) 現在設定されている暗証番号（数字 4 桁）を数字ボタンで入力します。 工場出荷時の暗証番号は「9999」です。 入力した数字は「＊」で表示されます。 (4) 新規に設定する暗証番号（数字 4 桁）を数字ボタンで入力します。 「暗証番号が更新されました。」と表示されます。 (5) 決定 を押します。

項目		設定項目 / 設定値	設定内容
機器設定（つづき）	視聴制限	無制限 設定する	テレビ番組の視聴年齢を制限することができます。 年齢を設定すると、暗証番号を入力しないと年齢制限のある番組が視聴できなくなります。 ［設定手順］ (1) ▲/▼/◀/▶ で「機器設定」の「視聴制限」を選択し、(決定) を押します。 (2) 現在設定されている暗証番号（数字 4 桁）を数字ボタンで入力します。 工場出荷時の暗証番号は「9999」です。 入力した数字は「＊」で表示されます。 (3) ▲ または ▼ で「設定する」を選択し、(決定) を押します。 設定を解除する場合は､「無制限」を選択し、(決定) を押します。 (4) 視聴を許可する年齢を数字ボタンで入力します。 (5)「xx 歳　以上の視聴を許可します」と表示されます。 (6) (決定) を押します。
	字幕・文字スーパー		
	字幕	なし 第 1 言語（日本語） 第 2 言語（英語など）	字幕放送サービスが行われている場合は、画面に字幕を表示させることができます。 **参考** • 字幕設定の切り換えはリモコンでもできます。（P.26参照）
	文字スーパー	なし 第 1 言語（日本語） 第 2 言語（英語）	ニュース速報など視聴者にお知らせしたいことを番組放送中の画面上に文字で表示することができます。 **参考** • 文字スーパーの設定を｢なし」に設定していても、緊急警報情報などのように強制的に表示するよう指定された文字スーパーを受信した場合は、これを表示します。
	音声切換	主音声 副音声 主＋副	二重音声放送を受信しているときは、音声を切り換えることができます。 **参考** • 音声の切り換えはリモコンでもできます。(P.25参照)
	番組表取得設定	取得する 取得しない	スタンバイ状態（電源オフ）のときに、番組表データを取得するかどうかを設定することができます。
	降雨対応画面	自動切換 使用しない	衛星を利用した放送では、雨や雪などの影響で衛星からの電波が弱まり、放送が受信できなくなる場合があります。その場合、一時的に画質や音質を下げ、弱い電波でも受信できるようにした降雨対応放送を行うことがあります。この放送に自動的に切り換えるかどうかを設定することができます。

項目		設定項目 / 設定値	設定内容
各種情報表示	B-CAS 情報		テレビ本体に取り付けた miniB-CAS カードを取り外すことなく、カードの登録番号が確認できます。登録番号は、miniB-CAS カードに関するお問い合わせ時に必要になる場合があります。
	バージョン情報		この製品に関するソフト情報を確認できます。
	放送メール		放送局やこの製品からのお知らせや情報を確認できます。 参 考 • 放送メールは最大 7 通まで保存され、以降、古い順に自動的に消去されますので、定期的にご確認ください。 • 放送メールは手動で削除することはできません。
	CS ボード		• CS デジタル放送から送られる情報を確認できます。 注意点 • この製品では利用できません。
その他	B-CAS テスト		miniB-CAS カードの動作を確認します。
	全設定消去		「4 - 3. 初期設定に戻す」（P.35）参照

4 - 3. 初期設定に戻す

● 地デジ設定を初期設定に戻す

地上デジタル放送の設定を初期設定に戻すことができます。

注意点
- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。
- BS デジタル放送の設定も初期設定に戻ります。

1. 本体設定 ○ を押し、本体設定メニューを表示します。
2. ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、決定 を押します。
3. ▲ を 5 秒以上押し、オプション設定メニューを表示します。
4. 「地デジリセット」を選択し、決定 を押します。
5. ◀ または ▶ で「リセットする」を選択し、決定 を押します。
   地デジ設定が初期設定に戻ります。
6. ○ 戻る を押し、オプション設定メニューを終了します。

参考
- 地デジ設定のリセットは、地デジ設定メニューの「その他」-「全設定消去」でもできます。
  1. 本体設定 ○ を押し、本体設定メニューを表示します。
  2. ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、決定 を押します。
  3. ▲ を 5 秒以上押し、オプション設定メニューを表示します。
  4. 「地デジ設定」を選択し、地デジ設定メニューを表示します。
  5. ▲▼◀ ▶ で「その他」の「全設定消去」を選択し、決定 を押します。
  6. 1 ～ 10 で暗証番号を入力します。
  7. ▲ または ▼ で「消去する」を選択し、決定 を押します。
     地デジ設定が初期設定に戻ります。
  8. 「戻る」を押し、地デジ設定メニューを終了します。

● すべての設定を初期設定に戻す

本体設定、オプション設定、地デジ設定のすべてを初期設定に戻すことができます。

注意点
- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

1. 本体設定 ○ を押し、本体設定メニューを表示します。
2. ▲ または ▼ で「リセット」を選択し、決定 を押します。
3. ▲ を 5 秒以上押し、オプション設定メニューを表示します。
4. 「オールリセット」を選択し、決定 を押します。
5. ◀ または ▶ で「リセットする」を選択し、決定 を押します。
   すべての設定が初期設定に戻ります。
6. ○ 戻る を押し、オプション設定メニューを終了します。

4 - 4. ソフトウェアのダウンロード

この製品の購入後も、機能の追加や改善を行うため、この製品のソフトウェアをバージョンアップする場合があります。
この製品はデジタル放送の電波を利用する自動ダウンロードに対応していますので、操作や設定を行うことなく、ソフトウェアをバージョンアップすることができます。

■ ダウンロードの実施

この製品が自動的にダウンロードの実施を判断します。

- アップデートが必要であることを判断した場合、

  ソフトウェアのアップデートが実施されます
  xxxx 年 xx 月 xx 日 xx 時 xx 分 の前後 30 分は待機状態にしてください

  というメッセージを表示します。
- 実施時刻の前後は、電源を切り、スタンバイ状態（電源ランプ赤点灯）にしておいてください。また、故障の原因となりますので、電源プラグを抜かないでください。

■ ダウンロードの終了

ダウンロードが正常に終了すると、ダウンロード完了のお知らせが届きます。
地デジ設定メニューの「各種情報表示」-「放送メール」で確認できます。

参考

- この製品のソフトウェアのバージョンは、地デジ設定メニューの「各種情報表示」-「バージョン情報」で確認できます。

第 5 章　こんなときは

5 - 1. こんなときは

症状に対する処置を行っても解消されない場合は、EIZO コンタクトセンターまたは EIZO サポートにご相談ください。

症　　状	原因と対処方法
1.　電源が入らない	・DC コード / 電源コードは正しく接続されていますか。
2.　テレビ本体の操作キーが効かない	・オプション設定メニューの「本体キー」を「無効」に設定していませんか。「無効」に設定していると、テレビ本体の操作キーが動作しません。（P.31 参照）
3.　リモコンが効かない	・リモコン受光部に向けていますか。 ・リモコン受光部との間に障害物がありませんか。 ・乾電池が消耗していませんか。 ・乾電池を入れる方向を間違っていませんか。
4.　映像も音声も出ない	・DC コード / 電源コードは正しく接続されていますか。 ・ケーブル類は正しく接続されていますか。 ・テレビ本体の ⏻（またはリモコンの 電源 ⏻ ）を押してください。 ・映像機器の電源は入っていますか。
5.　音が出ない / 音量が調節できない	・イヤホンがイヤホン端子に接続されていませんか。 ・音量を確認してみてください。 ・オプション設定メニューの「スピーカー」を「無効」に設定していませんか。「無効」に設定していると、スピーカーから音声が出力されません。（P.31 参照）
6.　デジタル放送が映らない / 映りが悪い	・電波の種類（地上デジタル、BS デジタル）に適合したアンテナを使用していますか。 ・アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 ・アンテナ線は外れていませんか。 ・miniB-CAS カードは正しく挿入されていますか。（P.11 参照） ・デジタル放送の認証に失敗している可能性があります。miniB-CAS カードの抜き差し、または電源コードをいったんコンセントから抜き、再度接続してみてください。 ・BS デジタル放送の場合、地域に適したサイズ（口径）のアンテナを使用していますか。BS デジタル放送のアンテナを直接接続している場合、地デジ設定メニューの「受信設定」-「アンテナ電源」が「供給する」になっていることを確認してください。 ・降雨対応放送になっていませんか。雨の影響により、衛星からの電波が弱くなると、この製品は電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換えます。降雨対応放送は、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。 ・地デジ設定メニューの「受信設定」-「受信レベル」で受信レベルを確認し、レベルの数値が小さい場合は、アンテナの方向調整をしてください。（P.20 参照）

症　　　状	原因と対処方法
7.　地上デジタル放送が受信できない / 地上デジタル放送の番組表などが表示されない	• 地上デジタル放送が行われているか、最寄りの放送局にお問い合わせください。 • 地デジ設定メニューの「受信設定」を行いましたか。（P.16参照） • 「受信設定」の直後は、まだ番組情報の取得などが完了していません。データの取得に、しばらく時間がかかることがあります。
8.　番組表の内容が表示されない	• 地デジ設定メニューの「機器設定」-「番組表取得設定」を「取得しない」に設定していませんか。「取得しない」に設定していると、すべてのチャンネルの番組表が表示されない場合があります。
9.　映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる	• 多少の時間がかかることがあります。特に、電源コードを抜き差ししたときは、しばらく時間がかかります。
10.　特定のチャンネルの映像や音声が出ない	• アンテナ線として適切なケーブルを使用していますか。 • 携帯電話など、この製品の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。デジタル放送に対応したケーブルなどを使用してください。
11.　引っ越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	• 引っ越した場合は、地デジ設定メニューの「受信設定」-「地デジ自動設定」を行ってください。（P.16 参照）
12.　受信できなくなった放送局が番組表表示などから消えない	• 地デジ設定メニューの「受信設定」-「地デジ自動設定」を行ってください。（P.16 参照）
13.　画面が明るすぎる / 暗すぎる	• 本体設定メニューの「明るさ」を調整してみてください（P.29 参照）。（液晶テレビに使用されるバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZO サポートにご相談ください。）
14.　画面に緑、赤、青、白のドットが残る または点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
15.　残像が現れる	• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。

5 - 2. メッセージ一覧

画面に表示される主なメッセージを説明します。

メッセージ	内　　容
「このボタンはチャンネル登録されていません」	・放送局が登録されていないリモコン番号を押したときに表示されます。 「チャンネルスキップ」を設定したチャンネルボタンを押した場合もこのメッセージが表示されます。
「このチャンネルは放送されていません」	・非放送番組を選局したときに表示されます。 ・次のような場合に表示されます。 - 非放送番組を選局したとき - 選局したチャンネルが「休止中」だったとき - 見ていたチャンネルが「休止中」になったとき - 選局したチャンネルのサービスに対応していないとき
「受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください」	・受信レベルが低下し、受信できないときに表示されます。 アンテナケーブルが正しく接続されていないときにも表示される場合があります。
「受信レベルが低下しています。降雨対応放送に切り換えました」（BS 放送）	・信号レベルが低下して受信できない場合で、かつ、降雨対応放送が可能な場合に表示されます。 ・通常放送に戻った場合には、「通常放送画面に切り換えました」と表示されます。
「B-CAS カードを正しく挿入してください」	・miniB-CAS カードが認識されていないときに表示されます。
「データ取得中です。しばらく待って操作してください」	・受信状態などにより、番組情報が取得できなかった場合に表示されます。
「チャンネル設定を行ってください」	・地上デジタル放送の受信設定（P.16）を行っていないときや、「全設定消去」を行ったときに表示されます。
「緊急放送が始まりました。（決定）ボタンで切り換えます」	・緊急放送が始まったときに表示されます。 決定ボタンを押すと、緊急放送を実施しているチャンネルに切り換わります。
「緊急放送が開始されました。チャンネルを切り換えますか？［切り換える］［このまま］」	・緊急放送が開始されたときに表示されます。 「切り換える」を選択し、「決定」を押すと緊急放送を実施しているチャンネルに切り換わります。
「受信できないチャンネルがあれば、チャンネル設定を行ってください」	・お使いの地域において、チャンネル周波数変更などが実施されるときに表示されます。
「ソフトウェアのアップデートが実施されます xxxx 年 xx 月 xx 日 xx 時 xx 分の前後 30 分は待機状態にしてください」	・ソフトウェアのダウンロードが必要と判断した場合に表示します。 実施時刻の前後は、電源を切り（スタンバイ状態、電源ランプ赤点灯）、電源プラグを抜かないでください。

メッセージ	内　　容
「この番組は視聴制限されています 登録している暗証番号を入力してください」	・選局した番組が年齢制限されている場合に表示されます。 ・暗証番号を入力すると、番組が視聴できます。
「アンテナ線がショートしています。 本体の電源を切って、アンテナとの接続を確認してください」	・アンテナケーブルがショートしている場合に表示されます。
「すべてのチャンネルがスキップ設定されています」	・全チャンネルが「チャンネルスキップ」に設定されているときに表示されます。
「「放送メール」を確認してください」	・放送メールを受信したときなどに表示されます。
「この B-CAS カードは交換する必要があります（xxxx） ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください」	・miniB-CAS カードを交換する必要がある場合に表示されます。
「このチャンネルは契約されていません（A103） ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください」	・選局したチャンネルと契約していない場合に表示されます。
「このチャンネルは契約外となっています（xxxx） ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください」	・選局したチャンネルと契約していない場合に表示されます。
「このチャンネルは視聴条件によりご覧になれません（xxxx） ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください」	・選局したチャンネルと契約していない場合に表示されます。
「契約期限が切れています（xxxx） ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください」	・選局したチャンネルとの契約が切れている場合に表示されます。

第 6 章　ご参考に

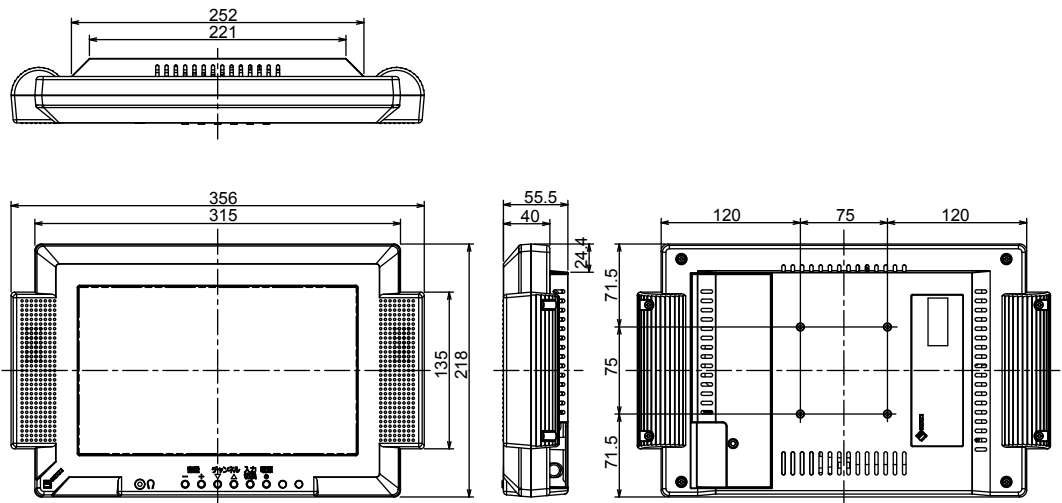
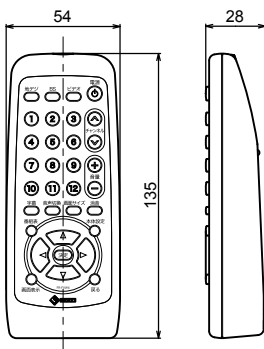
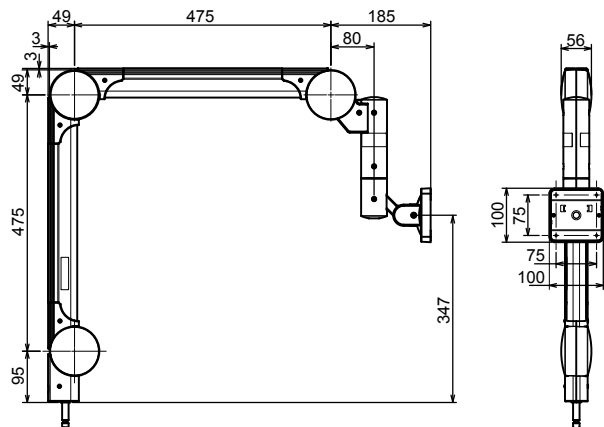
6 - 1. 仕様

パネル	サイズ	28cm（11.0）型ワイド
	種類	カラー TFT、TN、LED バックライト
	表面処理	アンチグレアコート
	表面硬度	3H
	視野角	左 / 右：70° / 70° 、上 / 下：50° / 70° （CR ≧ 10）
	ドットピッチ	0.2985mm
表示サイズ（水平×垂直）		238.8mm × 143.2mm
解像度		800 ドット× 480 ライン
最大表示色		約 1253 万色
アンテナ入力		入力端子：75 Ω F 型コネクタ× 1 受信チャンネル：地上 D000 〜 D999（CATV パススルー対応）、BS000 〜 BS999
ビデオ入力	映像信号	入力端子：RCA ピンジャック 対応フォーマット：NTSC
	音声信号	入力端子：RCA ピンジャック（L/R）
音声出力	スピーカー	実用最大出力：0.5W ＋ 0.5W
	イヤホン	出力端子：Φ 3.5 ステレオミニジャック× 1 実用最大出力：2mW ＋ 2mW
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、0.5A
消費電力（AC）	画面表示時	21W（アンテナ電源：「供給する」設定時）
	電源オフ時	スタンバイ状態：1.0W 以下 （アンテナ電源：「供給しない」設定時） ダウンロード中や番組情報を受信しているときなど：4.0W 以下 （アンテナ電源：「供給しない」設定時）
寸法	テレビ本体部	356mm（幅）× 218mm（高さ）× 55.5mm（奥行き）
	アーム部	100mm（幅）× 619mm（高さ）× 709mm（奥行き）
質量	テレビ本体部	約 1.4kg
	アーム部 （ケーブル類含む）	約 3.8kg
可動範囲	チルト角度	上 30° 下 90°
	スウィーベル角度	左 270° 右 270°
	ローテーション	左 90° 右 90°

環境条件	温度	動作温度範囲：　テレビ本体部 / アーム部　0℃～ 35℃ 電源アダプタ　0℃～ 40℃ 輸送および保存温度範囲：-20℃～ 60℃
	湿度	動作湿度範囲：20% ～ 80% R.H.（非結露状態） 輸送および保存湿度範囲：10% ～ 90% R.H.（非結露状態）
	気圧	動作気圧範囲：700hPa ～ 1060hPa 輸送および保存気圧範囲：200hPa ～ 1060hPa

● 外観寸法

単位：mm

テレビ本体

リモコン

アーム

6 - 2. 地上デジタル放送の放送一覧

地上デジタル放送のチャンネル設定を行うと、放送の運用規格に基づいて、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルをリモコンの数字ボタンに自動設定します。
この表では、その際に地域内のどの放送局がそのボタンに設定されるかを記載しています。

チャンネルボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	受信チャンネル 放送局名											
北海道 （札幌）	011 HBC 札幌	021 NHK 教育 ・札幌	031 NHK 総合 ・札幌		051 STV 札幌	061 HTB 札幌	071 TVH 札幌	081 UHB 札幌				
北海道 （函館）	011 HBC 函館	021 NHK 教育 ・函館	031 NHK 総合 ・函館		051 STV 函館	061 HTB 函館	071 TVH 函館	081 UHB 函館				
北海道 （旭川）	011 HBC 旭川	021 NHK 教育 ・旭川	031 NHK 総合 ・旭川		051 STV 旭川	061 HTB 旭川	071 TVH 旭川	081 UHB 旭川				
北海道 （帯広）	011 HBC 帯広	021 NHK 教育 ・帯広	031 NHK 総合 ・帯広		051 STV 帯広	061 HTB 帯広	071 TVH 帯広	081 UHB 帯広				
北海道 （釧路）	011 HBC 釧路	021 NHK 教育 ・釧路	031 NHK 総合 ・釧路		051 STV 釧路	061 HTB 釧路	071 TVH 釧路	081 UHB 釧路				
北海道 （北見）	011 HBC 北見	021 NHK 教育 ・北見	031 NHK 総合 ・北見		051 STV 北見	061 HTB 北見	071 TVH 北見	081 UHB 北見				
北海道 （室蘭）	011 HBC 室蘭	021 NHK 教育 ・室蘭	031 NHK 総合 ・室蘭		051 STV 室蘭	061 HTB 室蘭	071 TVH 室蘭	081 UHB 室蘭				
青森	011 RAB 青森放送	021 NHK 教育 ・青森	031 NHK 総合 ・青森		051 青森 朝日放送	061 ATV 青森テレビ						
岩手	011 NHK 総合 ・盛岡※1	021 NHK 教育 ・盛岡※1		041 テレビ 岩手	051 岩手朝日 テレビ	061 IBC テレビ		081 めんこい テレビ				
宮城	011 TBC テレビ	021 NHK 教育 ・仙台	031 NHK 総合 ・仙台	041 ミヤギ テレビ	051 KHB 東日本放送			081 仙台放送				
秋田	011 NHK 総合 ・秋田	021 NHK 教育 ・秋田		041 ABS 秋田放送	051 AAB 秋田 朝日放送			081 AKT 秋田テレビ				
山形	011 NHK 総合 ・山形	021 NHK 教育 ・山形		041 YBC 山形放送	051 YTS 山形テレビ	061 テレビュー 山形		081 さくらんぼ テレビ				
福島	011 NHK 総合 ・福島※1	021 NHK 教育 ・福島※1		041 福島中央 テレビ	051 KFB 福島放送	061 テレビュー 福島		081 福島 テレビ				
茨城	011 NHK 総合 ・水戸※1	021 NHK 教育・東京		041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
栃木	011 NHK 総合 ・東京	021 NHK 教育 ・東京	031 とちぎ テレビ	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
群馬	011 NHK 総合 ・東京	021 NHK 教育 ・東京	031 群馬 テレビ	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
埼玉	011 NHK 総合 ・東京	021 NHK 教育 ・東京	031 テレビ埼玉	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
千葉	011 NHK 総合 ・東京	021 NHK 教育 ・東京	031 チバ テレビ	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
東京	011 NHK 総合 ・東京	021 NHK 教育 ・東京		041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン	091 東京 MX テレビ			121 放送大学
神奈川	011 NHK 総合 ・東京	021 NHK 教育 ・東京	031 tvk	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
新潟	011 NHK 総合 ・新潟	021 NHK 教育 ・新潟		041 TeNY テレビ新潟	051 新潟 テレビ 21	061 BSN		081 NST				
富山	011 KNB 北日本放送	021 NHK 教育 ・富山※1	031 NHK 総合 ・富山※1			061 チューリップ テレビ		081 BBT 富山テレビ				
石川	011 NHK 総合 ・金沢※1	021 NHK 教育 ・金沢※1		041 テレビ 金沢	051 北陸 朝日放送	061 MRO		081 石川 テレビ				
福井	011 NHK 総合 ・福井※1	021 NHK 教育 ・福井※1					071 FBC テレビ	081 福井 テレビ				
山梨	011 NHK 総合 ・甲府※1	021 NHK 教育 ・甲府※1		041 YBS 山梨放送		061 UTY						
長野	011 NHK 総合 ・長野	021 NHK 教育 ・長野		041 テレビ 信州	051 abn 長野 朝日放送	061 SBC 信越放送		081 NBS 長野放送				
岐阜	011 東海 テレビ	021 NHK 教育 ・名古屋	031 NHK 総合 ・岐阜※1	041 中京 テレビ	051 CBC	061 メ～テレ		081 岐阜 テレビ				

チャンネルボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	受信チャンネル 放　送　局　名											
愛知	011 東海 テレビ	021 NHK 教育 ・名古屋	031 NHK 総合 ・名古屋	041 中京 テレビ	051 CBC	061 メ～テレ				101 テレビ 愛知		
三重	011 東海 テレビ	021 NHK 教育 ・名古屋	031 NHK 総合 ・津※1	041 中京 テレビ	051 CBC	061 メ～テレ	071 三重 テレビ					
静岡	011 NHK 総合 ・静岡	021 NHK 教育 ・静岡		041 静岡第一 テレビ	051 静岡朝日 テレビ	061 SBS		081 テレビ 静岡				
滋賀	011 NHK 総合 ・大津※1	021 NHK 教育 ・大阪	031 BBC びわ湖放送	041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
京都	011 NHK 総合 ・京都※1	021 NHK 教育 ・大阪		041 MBS 毎日放送	051 KBS 京都	061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
大阪	011 NHK 総合 ・大阪	021 NHK 教育 ・大阪		041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ	071 テレビ 大阪	081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
兵庫	011 NHK 総合 ・神戸※1	021 NHK 教育 ・大阪	031 サン テレビ	041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
奈良	011 NHK 総合 ・奈良※1	021 NHK 教育 ・大阪		041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ		081 関西 テレビ	091 奈良 テレビ	101 よみうり テレビ		
和歌山	011 NHK 総合 ・和歌山※1	021 NHK 教育 ・大阪		041 MBS 毎日放送	051 テレビ 和歌山	061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
鳥取	011 日本海 テレビ	021 NHK 教育 ・鳥取※1	031 NHK 総合 ・鳥取※1			061 BSS テレビ		081 山陰中央 テレビ				
島根	011 日本海 テレビ	021 NHK 教育 ・松江※1	031 NHK 総合 ・松江※1			061 BSS テレビ		081 山陰中央 テレビ				
岡山	011 NHK 総合 ・岡山※1	021 NHK 教育 ・岡山※1		041 RNC 西日本テレビ	051 KSB 瀬戸内海放送	061 RSK テレビ	071 テレビ せとうち	081 OHK テレビ				
香川	011 NHK 総合 ・高松※1	021 NHK 教育 ・高松※1		041 RNC 西日本テレビ	051 KSB 瀬戸内海放送	061 RSK テレビ	071 テレビ せとうち	081 OHK テレビ				
広島	011 NHK 総合 ・広島	021 NHK 教育 ・広島	031 RCC テレビ	041 広島 テレビ	051 広島 ホームテレビ			081 TSS				
山口	011 NHK 総合 ・山口※1	021 NHK 教育 ・山口※1	031 TYS テレビ山口	041 KRY 山口放送	051 YAB 山口朝日							
徳島	011 四国放送	021 NHK 教育 ・徳島※1	031 NHK 総合 ・徳島※1									
愛媛	011 NHK 総合 ・松山	021 NHK 教育 ・松山		041 南海放送	051 愛媛朝日	061 あい テレビ		081 テレビ 愛媛				
高知	011 NHK 総合 ・高知	021 NHK 教育 ・高知		041 高知放送		061 テレビ 高知		081 さんさん テレビ				
福岡	011 KBC 九州 朝日放送	021 NHK 教育 ・福岡※2 NHK 教育 ・北九州※2	031 NHK 総合 ・福岡※2 NHK 総合 ・北九州※2	041 RKB 毎日放送	051 FBS 福岡放送		071 TVQ 九州放送	081 TNC テレビ西日本				
佐賀	011 NHK 総合 ・佐賀※1	021 NHK 教育 ・佐賀※1	031 STS サガテレビ									
長崎	011 NHK 総合 ・長崎※1	021 NHK 教育 ・長崎※1	031 NBC 長崎放送	041 NIB 長崎 国際テレビ	051 NCC 長崎 文化放送			081 KTN テレビ長崎				
熊本	011 NHK 総合 ・熊本※1	021 NHK 教育 ・熊本※1	031 RKK 熊本放送	041 KKT くまもと県民	051 KAB 熊本 朝日放送			081 TKU テレビ熊本				
大分	011 NHK 総合 ・大分※1	021 NHK 教育 ・大分※1	031 OBS 大分放送	041 TOS テレビ大分	051 OAB 大分 朝日放送							
宮崎	011 NHK 総合 ・宮崎※1	021 NHK 教育 ・宮崎※1	031 UMK テレビ宮崎			061 MRT 宮崎放送						
鹿児島	011 MBC 南日本放送	021 NHK 教育 ・鹿児島※1	031 NHK 総合 ・鹿児島※1	041 KYT 鹿児島 読売 TV	051 KKB 鹿児島放送			081 KTS 鹿児島テレビ				
沖縄	011 NHK 総合 ・那覇	021 NHK 教育 ・那覇	031 RBC テレビ		051 QAB 琉球 朝日放送			081 沖縄テレビ （OTV）				

※ 1「チャンネル自動設定」で受信できなかった場合は、受信できた地域外の NHK 放送を数字ボタンに設定します。（設定される放送は、地域によって決められています。）
その後「※ 1」の放送が受信できると、新しい放送に設定を変更します。これは、放送の運用規定によるものです。

※ 2 入力レベルの高い方の放送をダイレクト選局ボタンに設定します。
これは、放送の運用規定によるものです。

※ 3 3 桁チャンネル番号は、放送地域内では、放送局ごとに異なった番号が割り当てられています。隣接する他の地域の放送局が受信できる場合で同じ 3 桁チャンネル番号の放送局が複数受信できる場合は、他の地域の放送局が、リモコンのチャンネル（数字）ボタンの空き番号に割り当てられます。

FlexView® 117

テレビ本体のボタンでの操作

FlexView® 117

リモコンでの操作

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、EIZO サポートにお問い合わせください。EIZO サポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定に従い、EIZO サポートにて修理または交換をさせていただきます。お買い上げの販売店、または EIZO サポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い上げの販売店、または EIZO サポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 8 年間保有しています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、EIZO サポートにご相談ください。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- 製品名、製造番号
  （製造番号は、テレビ本体の背面部のラベル上に表示されている 8 桁の番号です。例）S/N 12345678）
- 使用環境
  （設置場所（戸建住宅／ビル（病院含む）など）、アンテナの設置状況（単独／共同（ホーム共聴含む））、接続している映像機器など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

廃棄について

- この製品は、業務用途を意図した製品ですので、産業廃棄物として処理してください。

保証書

この保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから、必ずお買い上げ年月日・販売店・住所・電話番号の記入をご確認ください。

保証期間	お買い上げの日より　**1**　年間	モデル名/製造番号	（ご記入ください）

お客様	フリガナ	ご住所　〒
	お名前　　　　様	TEL　（　　　　）

販売店	お買い上げ年月日　　　年　　　月　　　日
	住所・店名・TEL・担当者

保証規定

1. 本製品の取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合、無料にて故障箇所の修理または交換をさせていただきますので、保証書を添えてお買い上げの販売店またはEIZOサポートまでお申しつけください。
2. 保証期間内でも次のような場合には、有償修理とさせていただきます。
   - 保証書のご提示がない場合
   - 保証書の所定事項が未記入、または字句が書き換えられている場合
   - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   - お買い上げの後の輸送・移動・落下などによる故障及び損傷
   - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧などの外部要因に起因する故障及び損傷
   - 車両・船舶などに搭載された場合に生じる故障及び損傷
   - 電池の液漏れによる故障及び損傷
   - 液晶パネル、バックライトの経年劣化（輝度の変化、色の変化、輝度と色の均一性の変化、焼き付き、欠点の増加など）
   - センサーの経年劣化
   - 外装品（液晶パネルの表面を含む）の損傷、変色、劣化
   - 付属品（リモコン、ケーブル、B-CASカード、取扱説明書など）の交換
   - 当社指定の消耗品（電池、スイッチ/ボタン/レバー類、回転部など）
   - 技術革新などにより製品に互換性がなくなった場合
3. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

* 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。なお、保証期間経過後の修理についてご不明な場合はお買い上げの販売店またはEIZOサポートまでお問い合わせください。

PRINTED WITH SOY INK 大豆インキを使用しています

〒924-8566　石川県白山市下柏野町 153 番地

http://www.eizo.co.jp

第 4 版　2013 年 12 月　Printed in Japan.

00N0L748D1
(U.M-FV117)